



癒ごこち家 arare

て…。これが難しい状況なんでしょうけれども、ここをどうするか皆さんの知恵を貸してもらい、ぜひ活気づけたいですね。

野口— シャッターがおりているけど空き店舗ではないところがほとんどなので、実際に貸せるのは意外に少ないんです。

そこで施策として、例えば店舗と住まいを整理するなど、行政で補助するとかそういう取り組みがあると、もっと貸せる・使える店舗が増えていくのかなと。少しずつ出てきている動きに拍車がかかるといいですね。

飯野— 実際話が増えているんですよ。いろいろイベントを行う中で、結城で何かをやってみたいとか。ここで動きが出てきたので近くでお店を出してみたいって話も結構きてますが、実際店舗などを探し出すと上手く見つからないし、大家さんとの交渉にすごい時間がかかったり。

借りる人も貸す人も安心できるような仕組みが作れると上手く利用できると思いますね。

野口— 住んでる人が亡くなり、空き家が解体されると、せっかくあった結城の魅力のある建物が消えていくっていうこともあるので、そういった部分も課題になっているなって。実際にこういう活動や支援なんかをしていると非常に身近に感じます。

奥澤— 今はこう北側の話に集中しているけど、結城市全体を見ると私はものすごくパランスのよいまちだと思ってるんですよ。北

でも結城市っていうのはいいまちだと思っんですね。なので、新しい食づくりっていうのも挑戦していきたいなって思っています。

野口— 将来像ってことで、今までやってきた活動っていうのが自分たちの力だけではなく、受け皿として受け止めてくれたまちだったり、行政の方だったりそういったところの強みっていうのは感じてきたところではあるので、そこを今後もしっかり活かさないといけないなと感じています。それはソフト面だったり、yuinowaのようなハード面っていう部分も、しっかり充実させて、また、自分たちの活動でできた土壌を、新たな人たちが使って自分の自己実現を成し遂げたいっていうときにしっかりとサポートできるようにしていきたいです。

そして、新しいチャレンジという部分でもに進み結城のまちで新たな賑わいが見られるような活動や、新しい人材・グループが出てくるような土壌作りをしていきたいと思っています。

奥澤— 意識改革じゃないけども、若い人から歴史とか文化っていうところに興味を持ってもらわないといけないと思います。もともとまちをあげて、何とかしようという気運を作ったっていかないと北部はだめになる。そういう意識をみんなが持たないと、せっかくの宝が埋もれてしまいます。

見方を変えて、南はどんどん新しい建物を建てて、こっちはそうではないまちを作ったから面白いんじゃないかって、何か光るものがあつたらものすごく楽しいと思うし。私も若

には古い街並みがあり、水戸線があり、50号バイパスが新しく出来上がって、そこには新しい住宅地がどんどん増えていって、その先に工業団地ができて、そしてそのまた南に農業地帯があって、非常に棲み分けがうまくできていると思います。

みなさんの描く結城市の将来像と今後の活動で新たに挑戦していきたいことは何でしょうか

飯野— 今年で結いプロジェクトを結成して10周年というタイミングを迎えるので、今まで継続してきたことをしっかりと形にしていこうかなと思っています。成功させるっていうことを目的とするよりも、イベントをとおして結城をどう伝え発信するか、どう人を巻き込みたいかっていうところにずっと重きを置いて活動してきましたので、それがやると実を結び形になっていく年だと思っています。今年には新たなチャレンジをしたいですし、石嶋さんや自分たちのそういう価値観とかっていうところで仲間が増えてきましたので、もっと将来に渡って結城の雰囲気好きになってもらえる仲間が増えていけば、自然とそれが観光という言葉になるかもしれないし、暮らしやすさになるかもしれないけど、その延長線上に結城の未来があるのかなと思っています。

石嶋— 何でもお手伝いさせていただきます、いろんな諸先輩方の話を聞き、学び伝えていく側になっていきたいです。また、私の場合は食を通じて何か結城市の特産物を使ったお料理を提供できたらと思います。それに、良い食材もまちの中ですぐ買えるなど、食に関心する人たちが頑張ってるっていう素地を作り、バックアップしたりするのが役目かなと思います。

市長— 本日は、「結城のまちづくり ひとつづくり」をテーマに皆さんから貴重なお話をたくさんお聞かせいただきました。

皆さんから、結城の魅力は北部市街地の街並みや、暮らしている人たちである、とお話をいただきました。私も昔の町割りが残り、見世蔵が並ぶ街並みが好きです。路地などを見てみるとその先が過去につながっていて、タイムスリップしてしまうのではないかとワクワクします。やはり先人から引き継いだ変わらない・変えられない宝物だと実感しています。

そんな歴史的な資源が多く残る街並みの保全・活用を図るため、まちなか整備方針をもとに、伝建地区の指定にむけた施策を現在行っております。

また、交流人口増加を図り、地域特性を活かした商業や観光の振興に取り組み、観光誘致を行うっていくための「結城市商業観光振興計画」を策定中でもあります。

今後も、本日の貴重なご意見やご提案を参考にしながら、結城市の歴史あるまちから新しい芽がたくさん芽吹き、活気あふれるまちとなるよう目指していきますので、皆さんにも引き続きご協力いただけますよう、よろしくお願いたします。

本年が皆さんにとって、すばらしい年になりますことをお祈りいたします。

